

令和6年度(2024年度)第1期 子どもと本の講座

生きるための絵本

— 1冊の絵本を深く読む —

全3回連続講座

第1回 5月25日(土)『ちょうちょ はやく こないかな』

甲斐信枝/さく (福音館書店)

第2回 6月15日(土)『三びきのやぎのがらがらどん』

ノルウェーの昔話 マーシャ・ブラウン/え, せた ていじ/やく (福音館書店)

第3回 7月27日(土)『ぼくはくまのままでいたかったのに……』

イエルク・シュタイナー/ぶん, イエルク・ミュラー/え, おおしま かおり/やく (ほるぷ出版)

時間 いずれも午後2時～午後4時 (開場 午後1時30分)

会場 北千里地区公民館 会議室1～3 (まちなかりビング北千里2階)

まさき ともこ

講師 正置友子さん(児童文学研究者)



定員 先着 60人

対象 18歳以上で3回連続参加可能な方

受講料 無料

申込み 4月23日(火)午前10時から

吹田市電子申込システムまたは
北千里図書館に来館か電話(午後6時まで)、
FAXでお申込みください。

*保育:1歳10ヶ月以上、7人まで。保育実費3回360円。
保育・手話通訳・要約筆記ご希望の場合は5月4日(土)×切。

申込・お問合せ:吹田市立北千里図書館

TEL:06-6834-2922 /FAX: 06-6834-2944

住所:〒565-0874 吹田市古江台3-8-1

電子申込はこちら→



主催:吹田市立図書館 共催:吹田子どもの本連絡会

まさき ともこ
講師 正置友子さん

講師より受講される方へ

いま、絵本の世界は非常に豊かです。とりわけ日本は、世界の中で絵本文化がもっとも豊かな国です。自国で生まれた絵本のなかにも素晴らしい絵本があり、外国の絵本の翻訳も豊かです。図書館や書店に行くと、選ぶのが難しいくらい多くの多様な絵本があります。では、どの絵本も素晴らしいでしょうか。絵本の体裁をしていれば、どの絵本も子どもたちに適切でしょうか。今回の講座では、1冊の絵本を丁寧に読む(見る)という作業をする過程で、絵本をみる眼を深めることを目的にします。絵本の世界は豊かですが、1冊の絵本の世界も豊かで深いことを、自分自身の絵本体験を通して知っていただきたい。参加される方は、前もって絵本をよく見てきてください。

プロフィール

1940年名古屋市生まれ。1973年より青山台団地で青山台文庫を始める。

1981～1986年北千里地区公民館の初代館長を務める。

1994年イギリスに留学し、2000年ヴィクトリア時代の絵本研究により、イギリスのローハンプトン大学より博士号(文学)を取得。

梅花女子大学講師、聖和大学教授を経て、現在も青山台文庫や絵本学研究所を主宰。

2012年大阪大学大学院で、哲学者メルロ＝ポンティと子どもと絵本の研究により、博士号(学術)を取得。

2023年伊藤忠記念財団子ども文庫功労賞受賞。

主な著作

『おかあさん、ごはんと本とどっちがすき -絵本の散歩道-』創元社 1982

『おかあさん、本よんで -絵本の散歩道 2-』創元社 1984

『絵本という宝物 -絵本の散歩道 3-』創元社 1988

『絵本のある生活(くらし) -絵本の散歩道 4-』創元社 1991

『絵本があって、花があって -絵本の散歩道 5-』創元社 1994

『A History of Victorian Popular Picture Books』風間書房 2006

『絵本の絵を読む』正置 友子/訳, 灰島 かり/訳, 川端 有子/訳 玉川大学出版部 2013

『保育のなかの絵本』編著 かもがわ出版 2015

『イギリス絵本留学滞在記 -現代絵本の源流ウォルター・クレインに魅せられて-』風間書房 2017

『メルロ＝ポンティと<子どもと絵本>の現象学 -子どもたちと絵本を読むということ-』風間書房 2018

『生きるための絵本 -命生まれるときから命尽きるときまでの絵本 127冊-』風間書房 2023